

2013年9月27日

NPO 法人 ICT 救助隊

理事長 藤澤義之

〒142-0063 東京都品川区荏原 5-5-3-102

Tel 03-3727-0479

講座実施報告書

— NEC 難病コミュニケーション支援講座 大阪・堺市会場 —

日時：2013年9月7日(土)、9月8日(日)

場所：総合福祉施設ベルタウン(大阪府堺市南安井町 3-1-1)

参加者数：53名

内訳：作業療法士 36名、理学療法士 5名、言語聴覚士 2名、看護師 2名、ソーシャルワーカー 2名、販売業者 6名)

主催：大阪府作業療法士協会堺ブロック、泉州ブロック

共催：NPO 法人 ICT 救助隊

協賛：NEC CSR・環境推進部社会貢献室

【カリキュラム】

1日目

13:00 開会にあたり

13:10 コミュニケーションについて (NPO 法人 ICT 救助隊 仁科恵美子)

文字盤の実習と携帯型会話補助機器体験

(レッツチャット、ペチャラ、トーキングエイド for iPad)

14:30 意思伝達装置「伝の心」について (NPO 法人 ICT 救助隊 今井啓二)

16:00 オペレートナビについて (NPO 法人 ICT 救助隊 今井啓二)

17:00 フリーソフト HeartyLadder について (NPO 法人 ICT 救助隊 仁科恵美子)

18:10 希望者のみ工作実習「スイッチインターフェイス製作」(NPO 法人 ICT 救助隊 今井啓二)

19:30 終了

2日目

10:00 スイッチの適合 (日本 ALS 協会近畿ブロック 久住純司氏)

11:30 スイッチ談義（日本 ALS 協会近畿ブロック 久住純司氏、一橋大学伊藤史人氏、NPO 法人 ICT 救助隊今井啓二）

12:30 昼食

13:15 工作実習「オリジナル入力スイッチ製作」（NPO 法人 ICT 救助隊 今井啓二）

15:00 オリジナルスイッチで HeartyLadder の操作（NPO 法人 ICT 救助隊 仁科恵美子）

15:30 ALS 等神経難病の支援について（日本 ALS 協会東京都支部 山本摂氏）

16:00 終了

【写真】

文字盤の実習と携帯型会話補助機器体験



フリーソフト HeartyLadder について

視線入力 体験



工作実習「スイッチインターフェイス製作」



【アンケート集約】

1. 受講しての感想、聞きたかったことなどお書きください。

全体として

- ・ソフト導入のタイミングや種類の選択が難しいと思いました。
- ・今回、ここまで詳細に説明や実習する機会が初めてでしたので大変ためになりました。今回受けた内容をどう利用者様、ご家族様に生かしていくかを考えていきます。
- ・現在、普通のマウスが使える患者様で今後の変化にどう対応するか自分自身不安だったのですが、今回の講座のおかげでいろんな状況へのイメージができました。
- ・利用者様に合ったもので、できるように考えていかなければならないと思った。
- ・字際に使用できてよかった。
- ・基本的な設定や操作などしっかりと理解した上で対象の方のコミュニケーションに対する思いを大切に導入にむすびつけていけるようにしたいと思った。
- ・伝の心では、伝の心を使えるタイミング、またコミュニケーションの方法が本当に今そこが必威なのかなど、本当に相手や家族が求めているのか、コミュニケーションとはを考えることが重要であると感じました。使える方ではなく、なぜ使わなければならないのかを考えるという事を考える人になりたいと感じ学ぶことが出来ました。
- ・伝の心やオペナビは同じようなものだと思っていましたが、パソコンの特異な方に向いているとか、使われる方に合わせて選んでいくのが必要なんだなと思いました。
- ・ゆっくり操作することなく、どういうものを分かっていますでしたが、設定方法など知ることが出来てとても勉強になりました。こちらもある程度使えないといけないなと改めて思いました。
- ・支援機器は名前をそれぞれ聞いたことがある状態で、特長がつかめていなかったもので、講座を聞いて理解できました。

透明文字盤、口文字

- ・意外と目に位置を読み取るのが難しく大変でした。
- ・あまり詳しい使い方を知らなかったのでも、体験できてよかったです。
- ・初めて透明文字盤を体験して、伝える難しさや読み取る難しさを知ることができてよかったです。
- ・透明文字盤は思ったよりも目が疲れることがわかりました。目的に文字を見つけるスピードを上げないといけないなと思いました。
- ・口文字は慣れるまで準備が必要。スキルがなければ相手をイライラさせるのではないかと感じた。
- ・人によっては視線を合わせて読み取ることが(どこを見ているのか判断すること)難しいことがわかりました。相手の視線の特徴など事前に確認することが必要ということがわかりました。

- ・実際に使用していくことで理解を深められた。口文字も練習しようと思います。
- ・支援者の訓練が必要ですが、PCを使用したコミュニケーションよりも長く続けれると感じた。
- ・文字盤との距離間や相手の目をしっかり見て読むなどポイントを復習できました。
- ・難しかった。帰って作成して皆で練習したい。
- ・ひねくれているのか、私を読みにくいようでした。もっといろんな人とためしあってもよかったなあと思います。
- ・目の見て読み取ろう！とするので、いつもより集中した(何を言いたいのか、知りたいのか、わかりたいと思って関わるのが)コミュニケーションになると思う。最近ノートパッドや携帯などが便利なものがあるので、いろいろと活用してみたいと思った。
- ・透明文字盤は初めて使ったのですが、文字を読み取るのが難しく、練習が必要だと思いました。実際に患者さまに使えるように練習します。
- ・サンダーバード博のファイルをありがとうございました。
- ・口文字にも今後挑戦していけたらと思います。
- ・体験してみて、思いを伝える側、伝えられる側、両方の努力があつてコミュニケーションが成立することを実感できました。口文字盤「いきしちに～」など全部覚えていないことに気づきました。また練習してみます。
- ・コミュニケーション支援で、まず、ハイテクに合わせてしまう意識があつた。当人との信頼の構築あつてこそその支援と再認識した。じっくりパソコンの上で操作する時間がとれてとても有意義でした。
- ・最初慣れるまではどこを見ているのかなかなかわからず読み取るのにかなり時間がかかってしまいましたが、慣れてくると結構読み取ることができ、また練習して使っていけたらと思いました。
- ・透明文字盤は目が疲れるが慣れれば使えそう。口文字は判断しながら文章を覚える(介助者側)のが難しい。
- ・透明文字盤の槍や加賀なかなか分かりませんでした。今回の動画で説明してもらったことでわかりました。
- ・口文字に関して **th** として使えるものの1つと感じた。
- ・文章が長いと読みとった言葉を忘れてしまうことが体験してわかりました。
- ・導入の際の支援者への伝達講習に必要性や難しさを感じました。しかし、導入しやすい点ではとても使えるツールだと思います。

携帯型会話補助装置

- ・言葉を伝えるたいへんさがすごくわかりました。
- ・iPadなどを使いこなせれば手軽にコミュニケーション支援ができるので、自分自身がiPadのようなタブレットを使いこなせるようになりたいと思います。

- ・レッツチャットと意思伝達装置の併用の利点、デメリットをもっと深く調べようと思いました。
- ・便利ではあるが、操作を覚える必要があるので高齢者には不利な印象を受けました。
- ・レッツチャットは改めてすごく便利だと思いましたが、メール機能がない点は伝の心やiPadのトーキングエイドの方がネットを通してコミュニケーションはいいです。
- ・iPadを多く活用することも支援の一つだと思いました。
- ・すでに導入されている方がいらっしゃるので、色々な使い方を自分自身知ることができよかったです。

伝の心

- ・近々導入を検討しているケースがあり。事前に自身でしっかり体験できました。
- ・ボタン一つで簡単に操作はできるが、一つの文章を作るたいへんさが体験できてよかったです。ボタン一つでパソコンを使えるという技術に感動しました。
- ・実際に見ることがあっても操作する機会が少なく、設定についても教えて頂けたのでよかったです。
- ・仕組みを深く知れました。
- ・ベースの価格が高いので導入のハードルの一つと感じました。
- ・手で押すスイッチの他にどんなスイッチあるのか知りたかった。
- ・伝の心の同級を検討している患者様がおおり、基本的な知識、操作を知ることができ参加できてよかったです。また、スイッチで文字を入力する大変さを感じられ、患者様との接し方を注意したいと思いました。
- ・iPadで使えるもの、機能がもっと増えていけば可能性はまだまだ広がると思いました。
- ・文字盤を切り替えなくても、かな入力ができたり、自分で新しい単語を登録できたり、今まで知らなかった機能を知ることが出来て良かったです。
- ・難病の方だけでなく、脳卒中でブローカ型失語のような方にもつかえそう。色々と応用できそう。
- ・また使用できる機会があれば試してみたいです。
- ・初めて自分で操作できたので良かったです。
- ・初めて操作しました。使いこなすためには時間がかかると思いました。
- ・以前、見たことはあったのが、使用方法や設定など知れてのは良かった。
- ・とても素晴らしい機器だと思います。しかし導入の金銭的問題を考えると実用的ではないのかと…。(生保や難病指定でない方の導入に関して)

オペレートナビ

- ・細かく設定できるのは良いですが少し難しかったです。パソコンに詳しい患者さんにとっては素晴らしい機能だと思います。

- ・伝の心との違いや適応する人など、あまり知らなかったので、どんなものか具体的に知れて良かったです。
- ・フリーソフトでここまでできることにおどろき、現場で活用していこうと思いました。
- ・PC操作に近い性能でのコミュニケーションなので人によるが導入しやすいと感じました。
- ・伝の心との違いがよくわかりました。
- ・パソコン操作が苦手ですが、パソコンに詳しくなると、本当に幅が広がり素晴らしいと思います。
- ・初めて使ってみてパソコンで windows 操作するのと同じなのでとっつきやすいと思いました。
- ・今、申請中の方を担当しているので、とても役に立ちました。
- ・自分が使うならオペナビが良い。
- ・パソコンが使い慣れているのでとても使いやすかったです。
- ・実際に見たことがなく、windows の使用を知っておく必要があり、th としても課題は多いと思った。
- ・支援者の PC 知識がなければ支援難しいですが、Pt といっしょに考えていくのも良いかなと思いました。ある程度はやめの導入が良いのでしょうか。

HeartyLadder

- ・無料ソフトでここまでできるのはすごいと思いました。使いやすいしわかりやすいと思いました。
- ・フリーソフトなのに、いろいろ便利な機能がついていて導入しやすいと思いました。
- ・ALS だけでなく失語症や他の疾患のコミュニケーションでも利用できると思います。
- ・フリーソフトなのにこんな自由とは。家でやってみます。
- ・こかかくしっかりはじめて聞きました。取説やちょっと使う程度(時々)だとわからないことがたくさんありました。
- ・ダウンロードして使ってみたいと思います。基本的な使い方わかりました。
- ・設定変更など細かい部分を知ることができ、自分の PC にインストールして知識を深めたいと思います。
- ・環境設定から操作方法を学ぶことができました。ダウンロードしたのではあまり臨床で使えるような印象ではなかったので、実践してみます。
- ・初めての体験ですべてのことに驚きでした。いろんな場面を想定した工夫や使いやすさが分かりました。パソコン操作がある程度できる人の方が導入しやすい。
- ・フリーソフトにも関わらず高性能で驚きました。
- ・インストールはしていたが、知らない機能がたくさんで驚きました。実際に触って使ってみないと説明できないと思いました。
- ・ここからしか参加できませんでしたが、Heartyladder がこんなに使いやすいものかと

でも驚きでした。

- ・色々なモードを試してみて、今後、いざ導入となった時の足がかりにしておきます。
- ・フリーソフトなのにめっちゃかしこい！！
- ・フリーソフトでこれだけの機能が使えて素晴らしい！！
- ・今までパソコンにダウンロードしていましたが、使い方が分からず困っていましたが、説明を聞けてとても勉強になりました。
- ・PCで取り込んでいましたが、実際の使用については知れて良かった。モード切り替えを用いて入力方法を検討できると知れて良かった。
- ・PCをお持ちの方に紹介したいと思います。

・スイッチの適合

- ・久住さんのお言葉は患者さん(利用者さん)の気持ち、そのもので支援していく上で忘れてはいけないことだと思います。
- ・手作りスイッチを様々見せて頂き、アイデア・発想のやわらかさが必要だと感じました。
- ・一番難しい部分です。まだまだ頭をやわらかくして作っていく必要がある。
- ・様々なアイデア次第でスイッチが変わるのでカタログ等に頼りすぎないことが大切と感じました。
- ・様々なスイッチがあって今後どうしていけばと悩みます。スイッチの適合、制作は正直、自分には難しいと感じました。もともと基礎知識もないので自宅でセンサースイッチを買って使ってみます。
- ・OTとして対象者の方の残存機能やセッティングなどきちんと批評していかなければならないし、その専門性はしっかり他職種の方へしっかり伝えて連携を図るように勉強していけないと感じました。
- ・様々なスイッチの材料や工夫のしかたがあって、目からウロコが」落ちました！あとは実戦で重ねて勉強していかないと！と思いました。
- ・色々なスイッチに触れることができるとも参考になりました。
- ・自分で色々なスイッチを作れるようになりたいです。多くのスイッチを知れて勉強になりました。
- ・スイッチの適合では、その対象がスイッチを求める、考える、悩んだ時、どれだけ、その方が思うスイッチをかんとんに提供できるかが大切だと考えます。
- ・既製品では出来ない事、工夫一つで色々出来る事を改めて感じました。
- ・スイッチ作製して決まりでなく、その人に合ったスイッチを製作する事が大切だと思いました。
- ・頭を柔らかく、いろんな角度で考えていくことの重要性のヒントを頂きました。
- ・手だけでなく、足や表情でよみとったり、身近な素材を使って色々応用できそう。発明するのが楽しくなります。

・基盤をあつかうこと等は初めての事ばかりでしたが、今後は、ご利用者さんに合わせて頂くのではなく、スイッチを合わせる努力をしていきます。

・久住さんの普段から感じている事を交えての講義がとても勉強になりました。

・実際の当事者のお話が直接聞くことができ良かったです。

・実際にいろんなスイッチを見せて頂きアイデアや工夫次第でいろいろなことができることを教えて頂きました。利用者に合わせて対応するように工夫出来ればと思います。

・形の違うものやタイプの異なるスイッチを実際に見れて良かった。久住さんからの講義は訪問についてさらに考えさせられました。

・当事者のお話を聞く事ができて参考になりました。

スイッチ、インターフェイスの製作

・簡単に制作でき、もし ALS の方など担当することがあれば活用したいです。

・意外に簡単に作れるのだと思いました。

・ご本人様のことも一つに奥様に確認したり Yes-No で答えらる質問ばかりになったりしながらですが、ご本人様の意思や気持ちをもっと聞くことができるよう持つことも大切だと思いました。

・応用していろいろな物を作りたい。

・実際にスイッチを作成して意外に簡単に作れるので、また作ってみようと思いました。

資料を頂けてありがとうございました。

・ハンダ付けの基本が分かっていなかったことに反省。

・なぜ、基盤の 2 か所あそこに半田付けするのですか？他の物(TV リモコン、ベッドリモコン)を改造する際はどこに半田付けするのかわかりません。

・制作してみると案外簡単で初めの一步から踏み出せると色々できると思いました。

・工作ははじめて行いましたが、みんなでたのしく取り組みました。

・難関のハンダは少し身近なことのような印象をもちました。固定方法のバリエーション、気づき、発見がたくさんありました。

・利用者様に提供される際の費用はどうされてますか？道具、材料は利用者負担ですか？

・スイッチの作り方、材料、アイデアなどたくさん学ぶことができました。ありがとうございました。

・とても参考になりました。ゲームパッドの改造以外、カメラフィルムのボタンスイッチの作り方なども教えて頂きたいです。

・基礎的な制作だったと思いますが、応用したスイッチインターフェイスが製作できるように知識を深めたいと思います。

・実習して、できないと思っていたことがそれなりに作成できることが出来ました。職場でも作成して応用した物を作れるようにと思います。

・技術の時間のようにいろんな工具を使って作るのは難しかったです。「こんな患者さん

か？」とイメージしながら作ること、それがうまく使えるかなど考えながらの過程が体験できて良かったです。

- ・1つ1つ、制作するにあたる事で、作り手がどうではなく、どうすれば使いたくなるか、その人にあうとかどういう事なのかを考える時間になりました。
- ・教えていただいた通りに製作したので仕組みの理解は不十分ですが、わからない事はわかる人にどんどん助けてもらい、挑戦していけたらと思います。
- ・スイッチの作成に対して難しく考えていた部分がありました。実際、研修を受けてみて自分もスイッチを作れる！と感じました。まだまだ分からない事がたくさんあるのでしっかり勉強していきます。
- ・ハンダ付け難しい、スイッチを作るのは難しい、と苦手意識を持っていましたが、やってみると意外とカンタンでおもしろかったです。色々なアイデアを持って、たくさん作ってみたいと思いました。
- ・難しいイメージがありましたが、丁寧に基礎を教えて頂きありがとうございました。今以上に触れる機会を日常から持てるように努めたいと思います。
- ・今までスイッチ作製から逃げていた部分がありましたが、今回の勉強会で自分でも作成できることが分かり、臨床で必要とされている方がいれば、今回学んだ知識を活かし、作製してチャレンジしたいと思いました。
- ・原理がわかかったので、とても勉強になりました。
- ・意外と難しくなったので、ほかにもいろいろ自作したいです。
- ・初めて作ったわりには上手くできました。いろいろなスイッチ作りにチャレンジしようと思います。
- ・初めての体験でした。詳しく教えて頂いたので作ることが出来ました。普段の私では出来ないと思いました。この機会に得たことを臨床に活かしたいです。
- ・スイッチ作りする機会があり、とてもありがたいと思います。出来る限り、今日教えて頂いたことを身につけて工夫し発展していけるようにしたいです。
- ・スタンダードの方法をマスターすると、さらに視野を広げた介入が出来ると感じた。
- ・どうせ自分ではわからないから…と思っていましたが、考えること、やってみることの大切さ、意外とできるものだなとつくづく考えました。

2. その他のご意見やご感想、お気づきの点がありましたらお書きください。

- ・コミュニケーション支援の道具がたくさんあり、感動しました。
患者さんによりそった関わりで道具の使用を続けていけるかどうかにも変わってくるのだとわかりました。
- ・本当に親切な研修でした。講師の皆様が話しなれており、準備などもしっかりされていて感動しました。本当に勉強になりました。ありがとうございました。
- ・透明文字盤で自分的に持ち手を作ったら使いやすくなるのではと思いました。

- ・伝えることの大切さ大変さが身にしみてわかりました。よい体験をありがとうございました。
- ・実際にスイッチも触れて体験できたので自分で応用するとしたらそうするかなと考えながら参加することができ、非常に勉強になりました。
- ・利用者を支援するということは、「決して考えの押し付けにならず、本人の思い、家族の思いを素直に聞くことから始めなければならないと感じました。
- ・iphone や身近な物で会話ができるようになれば経費もかからずもっと身近にできると感じました。費用が高い時に届かない。
- ・現場で活かせる内容とお話で大変勉強になりました。
- ・支援にあたっては機器を知るだけでなく、導入時の注意点や信頼を得るための工夫が必要と改めて実感しました。
- ・山本先生にお話は心にひびきました。考えが変わりました。
- ・死について……まだまだ勉強が必要です。
- ・東京から来てくださり、ありがとうございます。続けて小林 OT の後についていき勉強します。
- ・ハーティリーダーの説明があった為、利用してみようと思う機会になりました。ありがとうございます。
- ・すごく勉強になりました。また参加したいと思います。
- ・こういった勉強会を大阪や近畿内で皆が参加できるよう頻度を増やしていただけたらと思います。
- ・普段、病院内だけではわからない様々な方の活動や思いが伺えてよかったと思います。初期診断をする機能を持った機関で働いているので、その時の対応で先の人生に大きく影響してくるということを再認識して、患者、家族の方とお話ししていきたいと思いました。
- ・他職種の研修、そしてコミュニケーション支援に関する研修に参加することが初めてでしたので少し戸惑いがありましたが、当事者の方の生の声を聞くことができ、スイッチを直接触ってみたり、作ってみたりと、どんどん引き込まれました。職種理解も出来たように感じます。貴重な機会を頂き有難うございました。
- ・全体を通してもっと多くの支援者に広がればいい講座だと感じました。社内全体に広めたいと思います。
- ・私はひよこ訪問看護ステーションの山本先生のお話をもう少し、もっとお話しが聞きたかったです。
- ・2日間ありがとうございました。色々な com 機器に触れたり、スイッチを作るなどとても有意義な研修でした。知識だけ持っていては使えない、人に説明できないなあと思いました。実際にさわったり、他の方と意見交換したりして初めて利用者さんに導入できると思いました。
- ・久住さんの、ALS の方への対応として、まず自分が平静でなければ、と。どうしても身

構えてしまう面があります。知識、技術の向上に加え、余裕をもって対応できるメンタル
みがいていきたいと思います。

- ・本当に充実した講座でした。ありがとうございます。
- ・ずっと、意思伝達装置の導入は難しいというイメージがありましたが、学生のうちから
授業で機器を触ったり、スイッチを作る実習を行う機会があれば垣根が低くなりそうに思
いました。
- ・告知を受けられた後、何が大切なのか、全く話されないまま、やり過ごされている気が
しているのに。
- ・とても良い経験ができました。ありがとうございました。
- ・2日間とても楽しく研修を受講させて頂きました。ありがとうございました。
- ・何度かコミュニケーションの研修会に参加していましたが、今回の操作、設定、スイッ
チ制作と内容が濃い研修だったと思いました。とても実践的で学ぶことが多かったと思
います。
- ・コミュニケーション手段やスイッチなど知りえた情報はすごく多かったです。でも、自
分のリハも提供する側として、もう一度考えさせて頂く講義が多かったです。
- ・山本先生の話で「正しい ALS 患者」の話が印象的で、パソコン使って外出してが良い訳
ではない。勘違いしないですみました。
- ・実際に導入するにはどのような手続きが必要で窓口がどこか等も合わせて教えていただ
ければ今後につながっていくと考えています。

3. 次回コミュニケーション支援講座を受けるとしたらどんな内容を希望されます か？

- ・iPad を使ったコミュニケーション支援。
- ・発泡スチロール以外のスイッチの制作。
- ・失語症や先天性聴覚障害の場合のコミュニケーションの方法の獲得のプロセスなどに興
味があります。
- ・スイッチ作成のノウハウを知りたい。電気の基礎を知りたいと思いました。自分でも勉
強します。
- ・事例全体を含めてより具体的なこと、進化していくこと、色々なこと共有し、はばが広
がればと思います。
- ・事例検討
- ・ローテクの受けてないので受けてみたいです。
- ・作成実習引き続きお願いします。今日以外のスイッチなど様々なスイッチを作る機会を
与えて頂けたらと思います。
- ・いろいろな勉強になり、今後の支援に役だてたいと思います。その中でも最後の山本氏
のお話は速すぎて聞き取りにくかった部分もありましたが、一番大事なことだと思いまし

た。少しでも自分が支えになれる人になる様にならばと思います。

- ・新しい情報の提供を、再びスイッチの作製。
- ・呼吸スイッチや表情筋の動きで反応するセンサーを作りたい。
- ・最後の講義でおっしゃっていたパーキンソンになるようなヘルパーさんも全くおらず、、、その辺のお話をもっと知りたいと思ってます。
- ・いろいろな種類のスイッチを作る講座をしてほしいです。
- ・スイッチやインターフェイスを実際に作ることがとても良い経験になりました。やはり、実際に作成する講座が良いです。フィルムケーススイッチが作りたいです。
- ・どのように支援されると良いか、ということ当事者の方のお話など聞かせて頂ければと思います。
- ・コミュニケーション支援を行うにあたっての在宅初回介入からのかかわり方や制度について知れたらと思います。
- ・今回のような実習を含めた講座。
- ・作ったスイッチなどで、ひとつ自分で作品をつくってみてもおもしろいかなと思いました。私は今伝の心で毎回ご利用者様に作文を課題としてお願いしています。A41 枚の作文がどれだけ大変か初めて知りました。ありがとうございました。

以上